

自然観察 NOW

野幌森林公園自然情報
平成26年度 NO. 5

平成26年9月14日発行
北海道 ボランティア・レンジャー

秋の森の歩き方

秋の花を観察しよう

この時期を代表する花に、エゾトリカブトがあります。大変美しい花ですが、ドクウツギ、ドクゼリと並んで日本の三大毒草としても有名ですね。

他にも、キツリフネ、サラシナショウマ、ミズヒキ、ミゾソバ、ハナタデ、キンミズヒキ、ユウゼンギクなど、色々な花が咲いています。どちらかといえば地味な花の方が多いかもかもしれませんが、爽やかな秋の森で観察を楽しんでください。



引っ付き虫を観察しよう

これはノブキの実（そう果）です。腺毛から粘液が分泌され、衣服に粘着して運ばれます。秋の森には、このような「引っ付き虫」がよく観察されます。引っ付き方にも、トゲやかギ爪のようなものなど色々な方法があります。

種子の散布は植物にとっては、大変重要なことなのです。それぞれの植物が生き残るためにいろいろな工夫をしています。そんな植物の気持ちになって、観察しながら歩いてみるのも一興です。



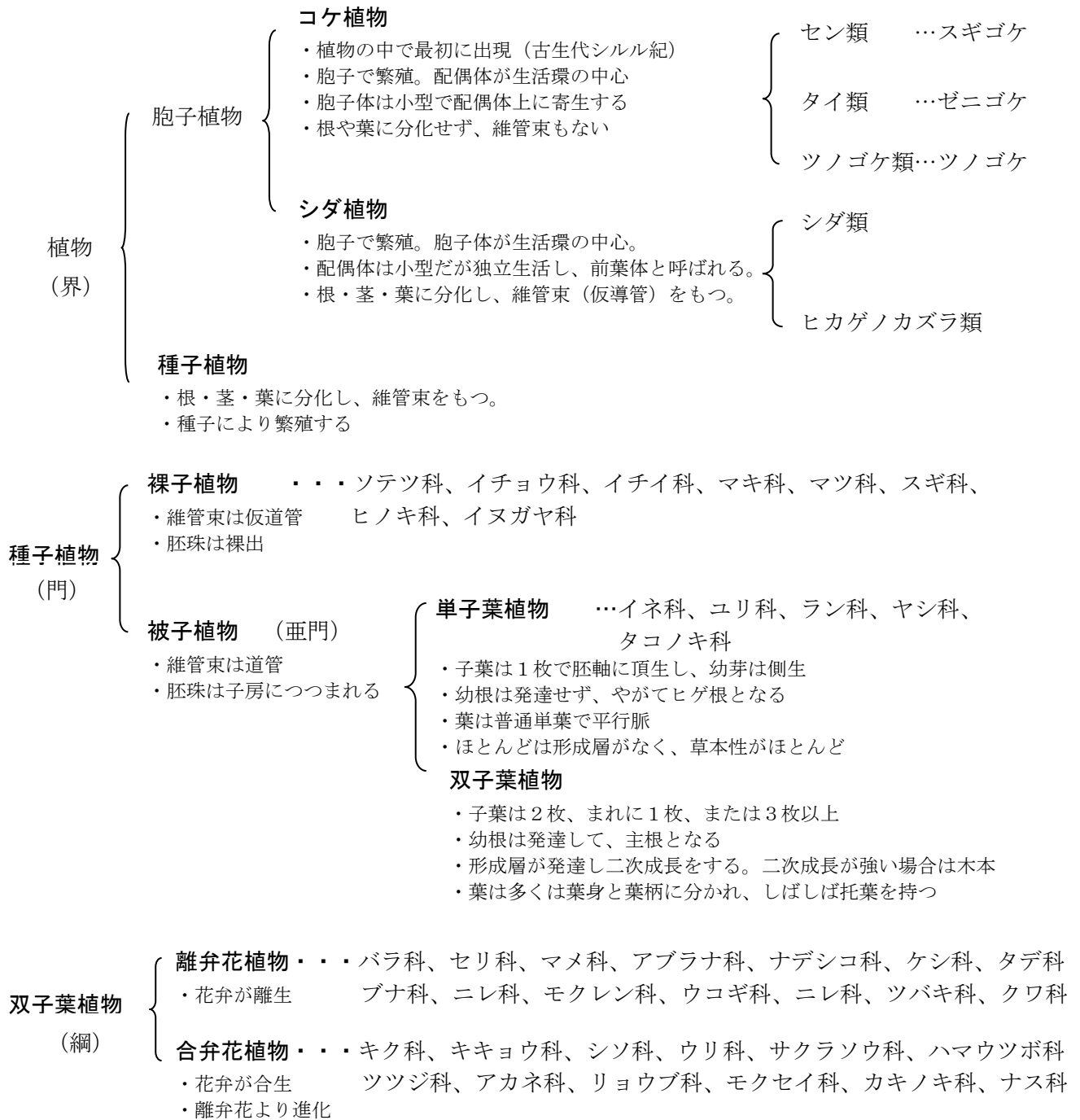
植物の分類の仕方

植物観察をするときには、個々の植物の名前を知りたくなります。知っている植物の名前がだんだん増えてくると、やがて、植物の分類の仕方が気になってくるのではないのでしょうか。分類の仕方がある程度身につけていけば、知らない草花を見たとき、図鑑のどの部分を引けばよいか見当がつけられるようになります。そうして、ますます、「植物博士」として周囲から認められるようになります。

生物は、界―門―綱―目―科―属―種、という階層によって分類されています。たとえば、ノブキは植物界、種子植物門、被子植物亜門、双子葉植物綱、合弁花類（後生花被亜綱、キク亜綱）、キク目、キク科、ノブキ属、ノブキというように分類されていきます。それぞれの階層の特徴を知っておくことが

大切なので、以下に掲載しておきます。参考にいただければ幸いです。

陸上植物の分類



10月の観察会案内

- * 10月 5日 (日)「恵庭公園観察会」 10:00~12:00 恵庭公園駐車場集合・解散
- * 10月 16日 (木)「秋の森の匂いをかごう」 10:00~14:30 開拓の村集合・解散